

仁木 恒夫
法学研究科・教授

【研究】

2022年度はおもに以下の研究をすすめた。

第一に、科学研究費補助金の助成を受けてすすめた民事紛争全国調査(代表者:佐藤岩夫)の成果の一部として「混濁する紛争経験の構築」を公表した。

第二に、今年度から科学研究費補助金の助成を受けて開始した、法多元主義の理論的・経験的な共同研究である「コンタクト・ゾーンの紛争処理」の実査に入った。

第三に、感染症の影響で継続した科学研究費補助金助成研究「司法書士の成年後見を主軸とした紛争処理活動の研究」の取りまとめをおこなった。

【教育】

大阪大学の担当授業のほか、神戸大学、京都大学で非常勤を担当した。

法社会学(裁判学)のテキスト・参考書である共著『新ブリッジブック 法社会学』を編集した。

【管理運営】

法学研究科の大学院教務委員、資料室長の業務をおこなった。

図書館委員、総合図書館運営委員、総合学術博物館兼任教員の業務をおこなった。

【社会貢献】

学外委員として、簡易裁判所判事推薦委員、日本法社会学会理事、奈良県建設工事入札参加停止審査会委員、奈良県入札監視委員会委員、Nexco西日本入札監視委員会委員などを担当した。